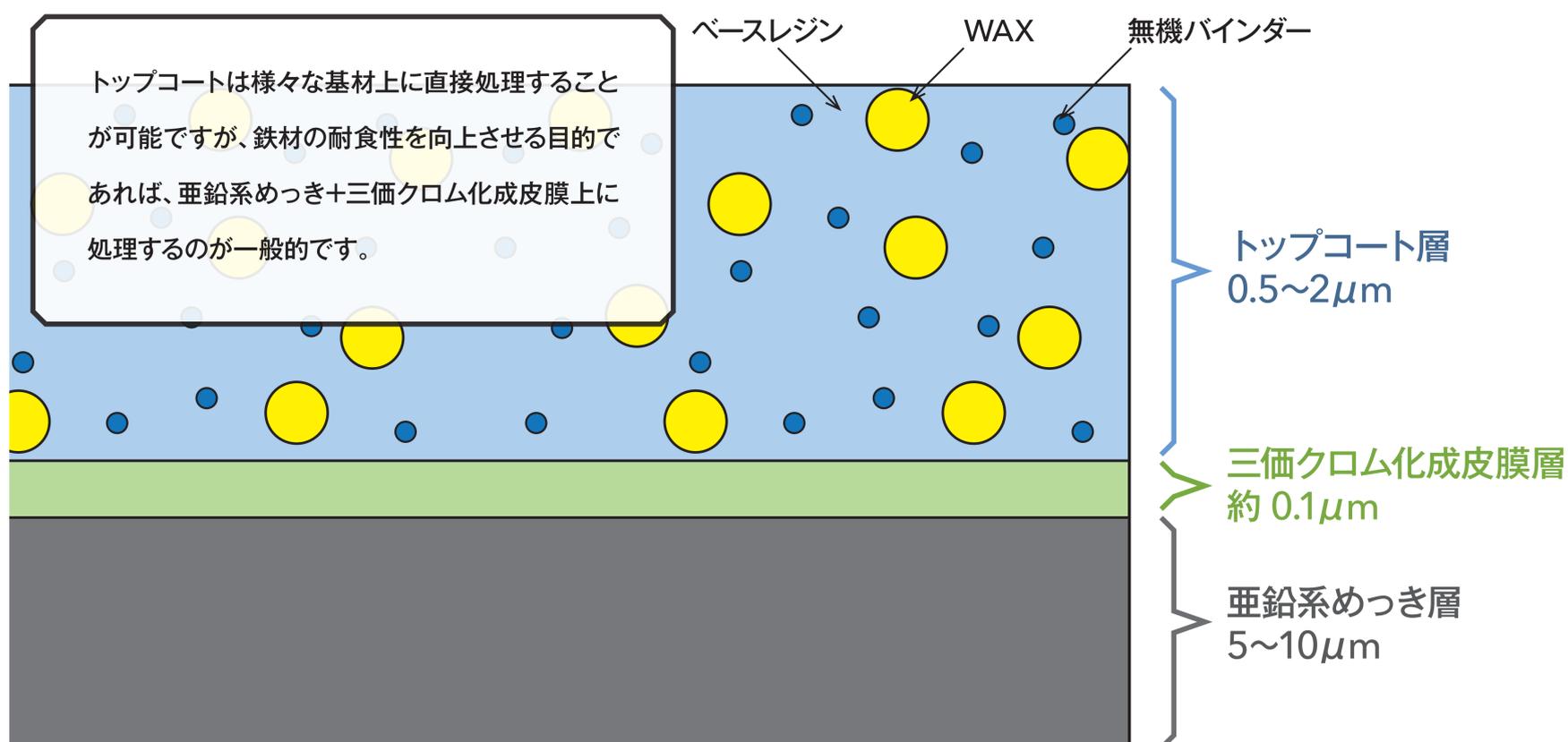


# トップコート皮膜の構造と機能

## 有機無機複合型トップコート



## 各成分の働き

### ベースレジン

トップコートの基本骨格となります。  
皮膜の硬さや耐食性、耐熱性、基材との密着性などトップコート皮膜のキャラクターを決定づける重要な役割を持っています。

### 無機バインダー

トップコート皮膜を厚膜化すると共に、強度を向上させる働きがあります。  
また、耐食性の向上にも寄与します。

### WAX

トップコート皮膜の摩擦係数を調整します。  
ボルト等、締結部品に処理する際は摩擦係数が非常に重要なファクターとなります。  
WAXの種類、添加量を調整することにより、目標とする摩擦係数を安定して得ることができるようになります。

※トップコート皮膜は0.5~2 $\mu$ m程度の薄膜です。この薄膜で安定した性能を得るためには上記成分を均一に分散させる技術が必要です。

- 有機無機複合型トップコートには黒色もラインナップしています。
- 耐熱性能の高いSiO<sub>2</sub>皮膜を形成する無機シリカ型トップコートも用意しています。

お客様の要求性能に適合したトップコートを紹介致します。まずはご相談ください。